

向こう三軒両隣

くにたち路地庭プロジェクト

地域をむすぶ香りの路地庭みち

■大正末期、田園都市計画の一環として開発された文教都市― 国立のまち ―。JR中央線「国立駅」南口の幅員約 44mの大学通りから放射状に広がる美しい街並みで知られています。

■そのイメージから、線路に分断・切り離されていた市内北地区に、計画地はあります。しかし近年のJR線の高架化に伴い、南北の通行が容易になり、利便性が格段に向上してきました。

■この市境界の地区には昔ながらの住宅が広がり、それらが細い路地でつながっています。表の大通りにくらべて目立たない存在の住宅街の路地沿いの民有地を緑化し、みどり香る「路地庭」みちをつくる本企画は、国立市のみならず、全国津々浦々の路地が存在する全ての場所で実現可能な取り組みです。

それは庭先に咲くきれいな花の香りだったり、雨に濡れた土の香りだったり、はたまたキッチンから香る家庭料理の香りだったり…。

誰でも一度は、そんな路地の香りを体験したことがあるのではないのでしょうか。

路地の香りは、私たちの懐かしい記憶を呼び起こしてくれたり、気持ちを豊かにしてくれます。

香る路地庭とは、裏通りの狭い道や袋小路などのいわゆる路地を活かした、どこか懐かしさを感じる花と緑の香りであふれた路地沿いの庭という意味の造語です。



地域をむすぶ香りの路地庭みち

花と緑の香りがあふれる懐かしいまちの景色

17世帯の新旧世代の家族がつどい、協働でくにたち路地庭プロジェクトのモデルケースとして民有地の接道部緑化「地域をむすぶ香りの路地庭みち」づくりに参画します。

■市境の北地区から南の市内中心部へ住宅地の細い道路に路地庭みちを発信。まちをむすびます。

■路地を庭にする緑の階層：建築基準法第 42 条第 2 項の敷地セットバックによる道路の未舗装部分を、道路と敷地の中間部分＝「土間」として地被植物等で緑地化して住宅の緑と一体化し、道路が庭に見える景観づくり。

高木・中木・生垣・壁面緑化
土間・駐車場・土間・駐車場の香り
たての香り

よこの香り

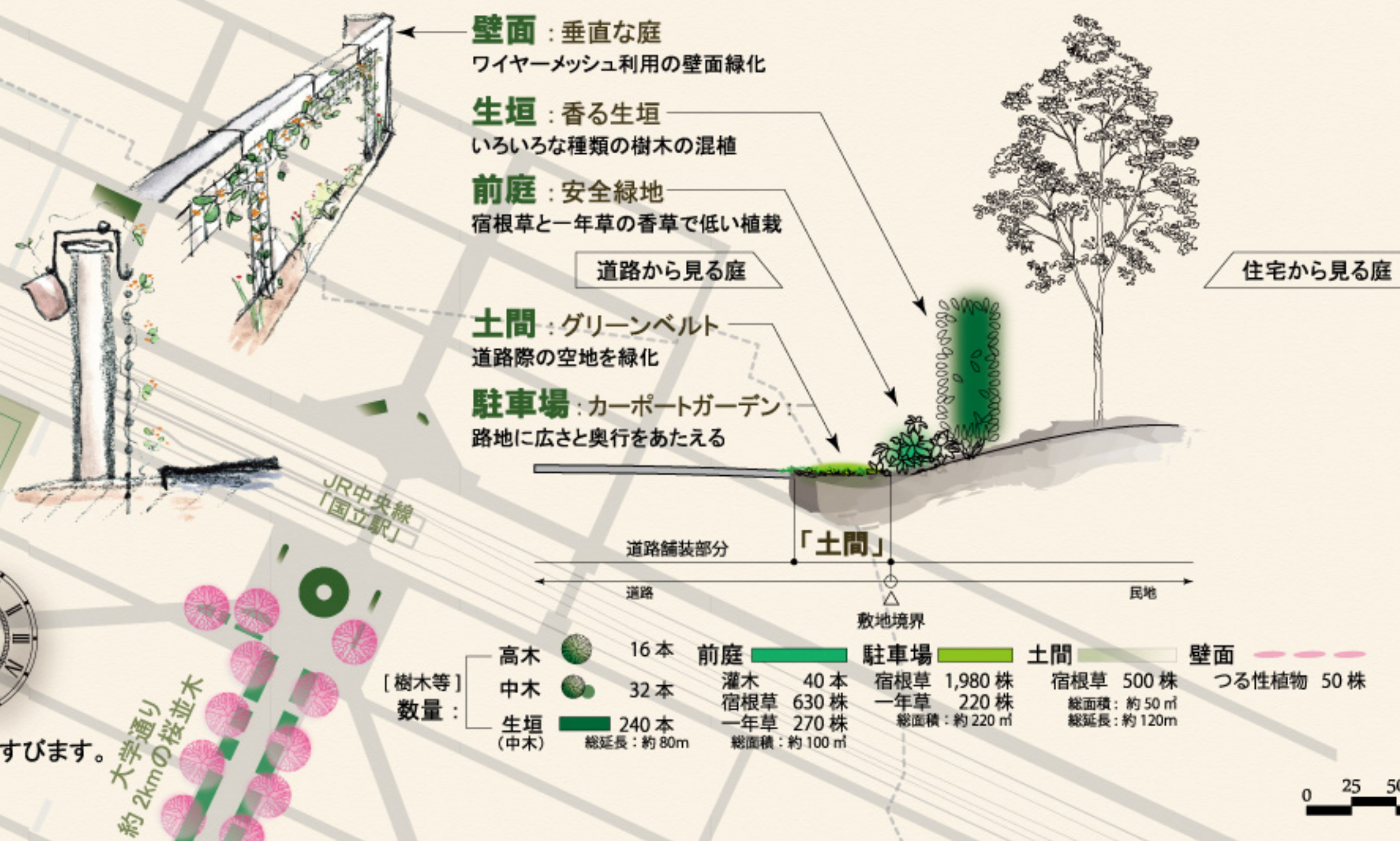
香りの3D

香りの3D

縦：垂直方向と、横：水平方向に香る樹木や草花を配置し、時：季節の香りお互いに引き立てあう組合せを考慮して、立体的に香るまちづくりを目指します。

香りの記憶は、時と空間を超えて心をこのまちにむすびます。

一橋大学



まちの回遊性を **創る**
新たなコミュニティづくりの **作る**
きっかけを **作る**
小さな回廊を **造る**

路地庭が **つなぐ** コミュニティストリート
公共から民間まで、多様な階層のみどりを繋ぐ道にします。
路地庭が **つむぐ** 香りの記憶
香りにより時や世代を超えて記憶が結ぶ道にします。
路地庭が **つくる** 東京のふるさと
香る路地庭を次世代に故郷として贈る道にします。
路地庭に **つどう** 多様な世代
みんなで生活を楽しむ屋外空間となる道にします。
路地庭が **まもる** こどもの安全
目の行き渡る、曲がり角の見通しの良い道にします。

安全緑地 角地の見通しを確保するために生垣や塀をセットバックして接道部に高さ 50cm以下の低い植栽をします。



上：安全緑地予想図 下：現況

0 25 50 100 200 500